令和 2 年度(2020 年度)

小学校生活科用

「新しい 生活」 年間指導計画作成資料 【2年(下巻)】

令和 2 年 (2020 年) 6 月 5 日版

※単元ごとの配当時数,主な学習活動,評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

単元名	春だ 今日か	ら 2年生	教科書のページ	下 p.1~8	
配当時数	6 時間	活動時期	4~5 月	学習指導要領の内容	(3) (5)

春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の 人や場所の働きを見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気 付き、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安 全に気を付けて生活しようとすることができるようにする。

ĸ	知識·技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
単元	春の自然と関わる活動や身近な	春の自然と関わる活動や身近な	春の自然と関わる活動や身近な
の	地域を歩く活動を通して、季節	地域を歩く活動を通して,身近	地域を歩く活動を通して、身近
評価	ごとに自然が変化していること	な自然の変化や特徴を探した	な自然の様子を取り入れ、自分
評価規準	や、季節に応じて自分たちの生	り,地域の人や場所の働きを見	の生活を楽しくしようとすると
準	活が変化していることに気付い	付けたりしている。	ともに、安全に気を付けて生活
	ている。		しようとしている。

しいる。			しょうとしている。
目標	時数	学習活動	評価規準
校ていで 春を さがそう			
・これまでの経験を基に	3	●~❷校庭で、春の動植物を観察	[知技]身近な自然が,毎年同じ
季節の変化を予想しな		したり,春を感じられるものを	変化を繰り返していることに
がら校庭の自然を観察		探したりする。	気付いている。
し, 身近な自然が毎年同		3気付いたことや感じたことを	[思判表]これまでの経験を基
じ変化を繰り返してい		記録カードにかいたり,友達と	に、季節の変化を予想しなが
ることに気付くととも		伝え合ったりする。	ら春の自然の特徴を探してい
に, それらを生かして自			る。
分の生活を楽しくしよ			[態度]季節ごとの自然のよさ
うとすることができる			を実感し、それらを生かして
ようにする。			自分の生活を楽しくしようと
p.2~3			している。
春の まちを 歩こう			
・安全に気を付けて学校	3	❶学校周辺の地域を歩く計画を	[知技]季節の変化に合わせて,
の周りを歩き,季節に合		立てる。	自分たちの生活やくらしが変
わせて自分たちの生活		②学校周辺の地域に出かけ,安全	化していることに気付いてい
が変化していることに		に気を付けて歩いたり地域の	る。
気付くとともに, 地域の		人と適切に関わったりしなが	[知技(習慣や技能)]身近な地
人や場所の働きを実感		ら,春を探す。	域を歩く際、安全に気を付け
し, 安全に生活しようと		3教室に戻り,まちの絵地図を見	て行動している。
することができるよう		ながら,気付いたことについて	[態度]地域の人や場所の働き
にする。		話し合い、記録カードにかく。	を実感し、自分のくらしに生
p.4~5			かして地域で安全に生活しよ
			うとしている。

単元名	ぐんぐん そ	だて わたしの	教科書のページ	下 p.9~22	
配当時数	10 時間	活動時期	4~7月	学習指導要領の内容	(7)

植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の 様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気 付くとともに, 生き物に親しみをもち, 大切にしようとすることができるようにする。

単元	知識•技能
の評	植物を継続的に栽培する活動を
評価	通して、植物が生命をもってい
規	ることや成長していることに気
準	付いている。

植物を継続的に栽培する活動を 通して,植物の変化や成長の様 子に関心をもって働きかけてい る。

思考·判断·表現

植物を継続的に栽培する活動を 通して,生き物に親しみをもち, 大切にしようとしている。

主体的に学習に取り組む態度

目標	時数	学習活動	評価規準
野さいを そだてよう			
・植物を育てたいという思い をもち, 栽培する時期や場所 などの条件で分類しながら 自分の育てたい植物を決め ようとすることができるよ	2	●1年生のときの経験を想起したり教科書を見たりしながら、自分で栽培する野菜を決める。②たねをまいたり苗を植えたりして、気付いたことを記録カー	[思判表] 自分の育てたい植物 を, 栽培する時期や場所など の条件で分類しながら, これ から育てる植物を決めている。
うにする。 p.10∼11		ドにかく。	
野さいの せわを しょう			

野さいの せわを しよう

・これまでの経験を基に、植物 の成長の様子を思い描きな がら世話の仕方を決め,植物 の状況に応じて聞いたり調 べたりして世話の仕方を変 えていく中で,植物が生命を もっていることに気付くこ とができるようにする。

p.12~13

- ●野菜の様子を紹介し合い、必要 な世話について話し合う。
- 常時活動 野菜の様子を観察し, 必要に応じた世話をする(草取 りや施肥、支柱立て、芽かき、 網かけなど)。
- 2~3野菜の様子を紹介し合っ たり,必要な世話について話し 合ったりし、野菜の成長の様子 や世話の様子などを記録カー ドにかく。

[知技]自分の育てている植物 が成長していることに気付い ている。

[思判表] 1年生での経験や身 近な人に聞いたことを基に, 植物の成長の様子を思い描き ながら世話の仕方を決めてい る。

[態度]育てている野菜の状況 に応じて, 詳しい人に世話の 仕方を聞いたり本で調べたり して, 世話の仕方を変えよう としている。

野さいの ようすを つたえ合おう

・友達と自分の世話の仕方を 比べながら, 育てている植物 に適した世話の仕方を決め、 適切な方法で世話を行う中 で、異なる植物にも同じよう な特徴や性質があることに 気付くことができるように する。

p.14~15

- を開き, 育てている野菜の成長 の様子や世話の仕方を紹介し 合い, 気付いたことを記録カー ドにかく。
- 常時活動 話し合ったことを生か し、朝の時間や休み時間などを 使って植物の世話を続ける。

[知技]異なる植物にも、同じよ うな特徴や性質があることに 気付いている。

[知技(習慣や技能)]適切な方 法で、植物の世話をしている。 [思判表]友達と自分の世話の 仕方を比べながら, 自分の植 物に適した世話の仕方を決め ている。

野さいを しゅうかくしよう

・植物を栽培して収穫をする 中で,自分が世話を工夫した

常時活動 朝の時間や休み時間な どを使い野菜の様子を観察し,

[知技]自分が世話を工夫した ことで,植物が大きく成長し

ことで植物が大きく成長したことに気付くとともに,植物を育てることのよさを実感し,これからも継続的に生き物と関わろうとすることができるようにする。

p.18~19

熟した野菜を収穫する。

- ●収穫したときのことを振り返り、気付いたことを紹介し合う。
- ②~③かきためてきた記録カードをまとめ、友達と紹介し合う。

たことに気付いている。

[態度]植物を育てることのよ さを実感し、これからも継続 的に生き物と関わろうとして いる。

サツマイモを しゅうかくしよう

・これまでに育てた植物との 共通点や相違点を探しなが らサツマイモを収穫し、サツ マイモの成長を喜び、収穫し たサツマイモをさまざまな 方法で楽しもうとすること ができるようにする。

p.68~69

外 ・サツマイモを収穫する。

- ・収穫後のサツマイモやつるを利用してできることを考え、みんなで楽しむ。
- ・サツマイモの苗植えから世話, 収穫などを振り返り,作品にま とめる。

[思判表] これまでに育てた植物との共通点や相違点を探しながら、サツマイモの特徴について話している。

[態度]サツマイモの成長を喜び、収穫したサツマイモをさまざまな方法で楽しもうとしている。

単元名	どきどき わぐ	くわく まちたん	教科書のページ	下 p.23~32	
配当時数	10 時間	活動時期	5~6 月	学習指導要領の内容	(3)

地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して,地域の場所と自分との関わりを見付け,地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに,地域の場所や人に親しみをもち,適切に接したり,安全に気を付けて生活したりしようとすることができるようにする。

	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
単	地域のさまざまな場所を訪問し	地域のさまざまな場所を訪問し	地域のさまざまな場所を訪問し
の	たり利用したりする活動を通し	たり利用したりする活動を通し	たり利用したりする活動を通し
評価	て、自分の身近な地域には、さ	て、身近な地域の場所と自分と	て、地域の場所や人に親しみを
単元の評価規準	まざまな場所があり、さまざま	の関わりを見付けている。	もち、適切に接したり、安全に
準	な人がいることに気付いてい		気を付けて生活したりしようと
	る。		している。

<u>る。</u>			している。
目標	時数	学習活動	評価規準
まちの ことを 話そう			
・友達と身近な地域のことを	1	●地域で、自分のお気に入りの場	[知技]地域には、自分の知って
話す中で,自分の知っている		所や興味のある場所, 不思議に	いる場所やまだ知らない場所
場所やまだ知らない場所な		思っている場所などについて	など、いろいろな場所がある
どいろいろな場所があるこ		話し合う。	ことに気付いている。
とに気付き,地域に探検に行			
きたいという思いを高める			
ことができるようにする。			
p.24~25			
たんけんの 計画を 立てよう	_		
・行ってみたい場所や見てみ	3	●探検に行きたい場所について	[思判表]行ってみたい場所や
たい物を思い描きながら,友		話し合い, 探検先ごとのグルー	見てみたい物を思い描きなが
達や自分の行きたい場所や		プをつくる。	ら, 探検の計画を立てている。
時間に応じて, 探検する場所		②グループごとに探検の計画を	[態度]友達や自分の行きたい
を調整したり,順番を変えた		立て,計画表に記入する(探検	場所や定められた時刻に応じ
りして, 探検の計画を立てよ		する順番や通る道,役割,持ち	て、探検する場所を調整した
うとすることができるよう		物、探検のルールやマナーな	り、順番を変えたりしようと
にする。		ど)。	している。
p.26~27		3探検の計画や、探検のルール・	
		マナーを確認し、探検に出かけ	
		る準備をする。	
まちを たんけんしよう	1		
・定められた時刻を守って地	3	●●●グループごとに探検に行	[知技]身近な地域の場所が,自
域を探検する中で,見付けた		< 。	分の生活と関わっていること
物や場所について自分の生			に気付いている。
活と結び付けながら地域の			[知技(習慣や技能)]地域を探
人に質問し, それらの場所や			検する際, 定められた時刻を
物が自分の生活と関わって			守っている。
いることに気付くことがで			[思判表] 見付けた物や場所に
きるようにする。			ついて、自分の生活と結び付
p.28~29			けながら, 地域の人に質問し
			たり話したりしている。

見つけた ことを つたえ合おう

・探検で見付けたことを交流 する中で、地域には自分たち の生活と関わっている場所 がたくさんあることや、それ らの場所が自分たちの生活 を楽しくしていることに気 付き、それらを自分たちの生 活に取り入れようとするこ とができるようにする。

p.30~31

- ●探検で見付けたことを,グループごとに振り返り,気付いたことを記録カードにかく。
- ②見付けたことの中で、いちばん 伝えたいことを付箋にかき、絵 地図に貼る。
- ❸絵地図を見ながら、自分たちが 見付けたことや分かったこと などを発表する。

[知技] 身近な地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあり、それらが自分たちの生活を楽しくしていることに気付いている。

[態度] 身近な地域には自分の 生活を楽しくしてくれる場所 があることを実感し、それら を自分の生活に取り入れよう としている。

単元名	生きもの な	かよし 大作せ	教科書のページ	下 p.33~46	
配当時数	10 時間	活動時期	6~7 月	学習指導要領の内容	(7)

動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとすることができるようにする。

単元	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
の	動物を探したり飼育したりする	動物を探したり飼育したりする	動物を探したり飼育したりす
元の評価	活動を通して、動物が成長して	活動を通して,動物の育つ場所,	る活動を通して、動物への親し
規準	いることや、生命をもっている	変化や成長の様子に関心をもっ	みをもって、生き物を大切にし
準	ことに気付いている。	て働きかけている。	ようとしている。

準 │ ことに気付いている。		て働きかけている。	ようとしている。
目標	時数	学習活動	評価規準
生きものの ことを 話そう			
・これまでの経験を想起しながら、身近な動物の種類やいる場所について友達と話し、 身近な動物と関わりたいという思いを高めることがで	1	●ふだんの生活の中で見付けた動物について話し合う。	[思判表] これまでの経験を想起しながら、身近な動物について友達と話している。
きるようにする。 p.34~35			
生きものを さがそう	I	1	
・これまでの経験や聞いたり 調べたりしたことを基に,動 物のいる場所を予想しなが ら動物を探す中で,動物の育 つ場所の特徴に気付くこと ができるようにする。 p.36~37	3	動物を探しに行く計画を立てる。②安全に気を付けながら、友達と協力して動物を捕まえる。③動物のために餌やすみかを整えてから、捕まえたときのことを振り返り、気付いたことを記録カードにかく。	[知技]動物の育つ場所の特徴に気付いている。 [思判表] これまでの経験や聞いたり調べたりしたことを基に、いる場所を予想しながら動物を探している。
生きものを そだてよう		3400 1 100 10	
・動物のいた場所と生育環境の関係性を探しながら世話の仕方を決め、適切な方法で飼育する中で、動物が生命をもっていることや成長していることに気付くことができるようにする。 p.38~39	3	 ●飼育し続けるために必要な餌やすみかについて話し合ったり調べたりして、飼育環境を整える。 ②~③調べたり聞いたりしたことなどを基に、それぞれの動物に応じた世話をする。 常時活動 朝の時間や休み時間などを使って、継続的に世話や観察をする。 	[知技]動物が生命をもっていることや、成長していることに気付いている。 [知技(習慣や技能)]適切な方法で、動物の世話をしている。 [思判表]動物のいた場所と生育環境の関係性を探しながら、世話の仕方を決めている。
生きものの ことを つたえ合お	う		
・飼育してきた動物について 伝え合う中で,自分が動物の 様子に合わせて世話をする ことができるようになった	3	●~②これまでの飼育活動を振り返り、グループごとに作品にまとめる。③これまでの飼育活動について、	[知技]動物の様子に合わせて 世話をすることができるよ うになった自分に気付いて いる。

[態度]世話をしてきた動物に

ことに気付くとともに、世話 友達と伝え合う。

1		
をしてきた動物に親しみを		親しみをもち、これからも生
もち,これからも身近な生き		き物を大切にしようとして
物を大切にしようとするこ		いる。
とができるようにする。		
p.42		

単元名	うごく うごく	わたしの おも	教科書のページ	下 p.47~58	
配当時数	12 時間	活動時期	9~10 月	学習指導要領の内容	(6)

身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	身近にある物を使って,動くおもちゃをつくる活動を通して,遊びやおもちゃをつくる面白さや,自然の不思議さに気付いている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	身近にある物を使って,動くおもちゃをつくる活動を通して, みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

		っている。					
目標	時数	学習活動	評価規準				
つくりたい おもちゃを きめよう							
・見本のおもちゃを動かして	1	●見本のおもちゃで遊び、自分の	[思判表] 楽しみたい遊びを思				
遊ぶ中で,自分が楽しみたい		つくりたいおもちゃを決める。	い描きながら,つくるおもち				
遊びを思い描きながらつく			ゃを決めている。				
るおもちゃを決め, これから							
のおもちゃづくりへの思い							
を高めることができるよう							
にする。							
p.48~49							
うごく おもちゃを つくろう							
・おもちゃの動きを予想して	3	①~3見本のおもちゃや教科書,	[知技]材料やつくり方を変え				
使う材料を選び,安全に配慮		図鑑などを参考にして、おもち	ることで、おもちゃの動きが				
しながら必要な道具を使っ		ゃに必要な材料や道具を用意	変わることに気付いている。				
ておもちゃをつくる中で,つ		して、自分のおもちゃをつく	[知技(習慣や技能)]おもちゃ				
くり方や材料を変えるとお		る。	をつくったり遊んだりする				
もちゃの動きが変わること			際、安全に配慮しながら必要				
に気付くことができるよう			な道具を適切に使っている。				
にする。			[思判表] 実際に試したり比べ				
p.50~51			たりしながら、おもちゃの動				
			きを予想し,使う材料を選ん				
	L		でいる。				
もっと よく うごく おもちゃ							
・おもちゃをもっとよく動か	3	① 自分がつくったおもちゃでほ	[知技]自分がおもちゃに加え				
したいという思いをもち,友		かのグループの友達と遊び、気	た工夫と、おもちゃの動きと				
達と比べながら動きを予測		付いたことを話し合う。	の間には、一定の関係性があ				
しておもちゃを改良する中		②~③おもちゃを工夫して改良	ることに気付いている。				
で,自分が加えた工夫とおも		しながら遊び、よりよく動くよ	[思判表] 友達のおもちゃと比				
ちゃの動きとの間に関係性		うに、グループで話し合ったり	べたり競争したりしながら、				
があることに気付き,繰り返		試して遊んだりする。	おもちゃの動きを予測し、お				
し改良しようとすることが			もちゃを改良している。				
できるようにする。			[態度]自分のおもちゃをもっ				

p.52~53			とよく動かしたいという思い
			をもち、繰り返しおもちゃを
			改良しようとしている。
あそび方を くふうしよう			
・さまざまな遊び方を試しな	5	❶みんなで楽しく遊ぶ活動につ	[知技]自分がルールや遊び方
がら, みんなでより楽しく遊		いて話し合う。	を工夫したことで、みんなで
べるように遊び方を改良す		②みんなで遊ぶ活動に向けて準	楽しく遊ぶことができるよう
る中で,ルールや遊び方を工		備をする。	になったことに気付いてい
夫するとみんなが楽しく遊		3~4みんなで楽しく遊びなが	る。
べるようになることに気付		ら、おもちゃを改良したり遊び	[思判表]さまざまな遊び方を
き,これからも遊びを創り出		方を工夫したりする。	試しながら、みんなでより楽
そうとすることができるよ		⑤これまでの学習活動を振り返	しく遊べるように、遊び方を
うにする。		り、記録カードにかく。	改良している。
p.54~55			[態度]身近な物を使ってみん
			なと遊びを創り出すことの面
			白さを実感し、これからも友
			達と一緒に遊びを創り出そう
			としている。

単元名	みんなで つ	かう まちの し	教科書のページ	下 p.59~70	
配当時数	6 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(4)

公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切にし、正しく安全に利用しようとすることができるようにする。

単	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
単元	公共物や公共施設の利用を通し	公共物や公共施設の利用を通し	公共物や公共施設の利用を通し
の評	て、身の回りにはみんなで使う	て、公共物や公共施設のよさを	て、公共物や公共施設を大切に
	物があることや、それらを支え	感じたり、働きを捉えたりして	し、正しく安全に利用しようと
準	ている人々がいることに気付い	いる。	している。
	ている。		

ている。			
目標	時数	学習活動	評価規準
図書かんを つかおう			
・ルールやマナーを守って地域の図書館を利用する中で、学校図書館との共通点や相違点を探し、地域の図書館は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付くことができるようにする。 p.60~61	3	1 図書館を利用することについて話し合い、出かけるための準備をする。2~3地域の図書館に出かけ、本を読んだり借りたりなどして図書館を利用する。	[知技]図書館は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付いている。 [知技(習慣や技能)]図書館を利用する際、公共の場所でのルールやマナーを守っている。 [思判表]学校図書館との共通点や相違点を探しながら、図
			書館を利用している。
図書かんの ことを 聞いて みよ	: う		
・図書館の機能やそこで働く 人の役割を予想しながら図書館の人と関わり、図書館には多様な人々が利用しやすくなるような工夫がある人がいることやそれを支えている人がいることに気付き、これからも大切に利用しようとする。 p.62~63	2	●地域の図書館に出かけ、図書館のことを調べたり、図書館司書の人やボランティアの人、利用者などにインタビューしたりする。②学校に戻り、図書館での学習活動を振り返り、記録カードにかく。	[知技]図書館には、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用しやすいような工夫があることや、それを支えている人がいることに気付いている。 [思判表]図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら、図書館で働く人と話したり質問したりしている。 [態度]図書館は多様な人々のくらしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとしている。
みんなで つかう しせつの こと			
・身の回りにある公共施設に ついて友達と話し,自分たち の地域にはみんなで使うた めのさまざまな施設があり, それらを支えている人がい	1	●地域の公共施設について話し合う。	[知技] 自分たちのくらす地域 には、みんなで使うためのさ まざまな施設があることや、 それらを支えている人がいる ことに気付いている。

ることに気付くことができ		
るようにする。		
p.64 ~ 65		

単元名	もっと なかる	よし まちたんけ	教科書のページ	下 p.71~80	
配当時数	12 時間	活動時期	10~11 月	学習指導要領の内容	(3)

地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとすることができるようにする。

単	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
元	地域の人々と関わる活動を通し	地域の人々と関わる活動を通し	地域の人々と関わる活動を通し
の評	て、自分たちの生活は、地域の	て,地域で生活したり,働いたり	て、地域の人々に親しみや愛着
価 規 準	さまざまな人や場所と関わって	している人と自分たちの生活と	をもち、適切に接したり、安全
準	いることや、地域の人々が地域	の関わりを見付けている。	に生活したりしようとしてい
	に寄せる思いに気付いている。		る。

に寄せる思いに気付いている。			る。
目標	時数	学習活動	評価規準
たんけんの 計画を 立てよう			
・地域の人や場所と関わりたいという思いをもち、地域に探検に行って実現できそうなことを予想しながら探検する場所や調べることを決め、探検の計画を立てようとすることができるようにする。 p.72~73	2	●探検に行きたい場所や話したい人,聞きたいことなどについて話し合い,探検先ごとのグループをつくる。②グループごとに探検場所や聞きたいこと,コースや持ち物など,探検の計画を立て,計画表に記入する。	[思判表] 探検に行って実現できそうなことを予想し、探検する場所や調べることを決めている。
もう いちど たんけんに 行こう	5		
・地域に探検に出かけ、自分のこれまでの経験と関連付けながら、地域の場所や人の役割を探し、地域にある場所には働いている人や生活している人がいることに気付くことができるようにする。 p.74~75	3	●~②グループごとに探検に行く。③探検活動を振り返り,気付いたことを記録カードにかく。	[知技] 地域にある場所には、働く人や生活している人がいることに気付いている。 [思判表] 地域で見付けたことを自分のこれまでの経験と関連付けながら、地域の場所や人の役割を探している。
見つけた ことを しょうかいし	よう		
・友達と自分の見付けたことの共通点や相違点を探しながら地域で見付けたことを伝え合う中で、もっと詳しく調べたいことがあることに気付き、もう一度探検に行こうとすることができるようにする。 p.76~77	2	・ 探検で見付けたことを,グループごとに整理し,全体の場で紹介し合う。 ②グループごとに,次の探検の計画を立てる。	[思判表] 友達の見付けたことと自分の見付けたことの共通点や相違点を探しながら、地域のことを伝え合っている。 [態度] 探検で分からなかったことを調べたいという思いや、もっと詳しく知りたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。
まちの 人に 聞きに 行こう			
・相手や場に応じた挨拶や言 葉遣いをして地域の人と関	3	●各グループで前時の学習活動 を踏まえて探検の内容を検討	[知技]探検で関わった地域の 人の,地域に寄せる思いに気

わる中で、地域の人の地域に 寄せる思いに気付くととも に、これからも地域の人々と 関わろうとすることができ るようにする。

p.78~79

し、計画を仕上げ、探検の準備をする。

②~③グループごとに探検に行く

付いている。

[知技(習慣や技能)]地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。

[態度]地域で関わった人の,地域に寄せる思いに触れ,これからも地域の人々と関わろうとしている。

分かった ことを 話し合おう

・地域の人々が地域に寄せる 思いの中から共通点を見出 し、地域の人々のよさについ て友達と話しながら、地域に は自分たちのくらしを豊か にしてくれる人々がたくさ んいることに気付くことが できるようにする。

p.80

- ●探検で分かったことを、グループごとに整理してまとめ、ほかのグループの友達に紹介するための準備をする。
 - ②まち探検で分かったことを紹介し合う。

[知技]地域には自分たちのく らしを豊かにしてくれる人々 がたくさんいることに気付い ている。

[思判表] 自分や友達が関わった人々の地域に寄せる思いから共通点を見出し、地域の人々のよさについて話している。

単元名	つながる 広がる わたしの 生活			教科書のページ	下 p.81~94
配当時数	12 時間	活動時期	11~12月	学習指導要領の内容	(3) (4) (8)

自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを 想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや 楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとすることができるようにす る。

単	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
単元	自分たちの生活や地域の出来事	自分たちの生活や地域の出来事	自分たちの生活や地域の出来事
の評	を身近な人々と伝え合う活動を	を身近な人々と伝え合う活動を	を身近な人々と伝え合う活動を
価 規 準	通して、身近な人々と関わるこ	通して、相手のことを想像した	通して、地域の人々に親しみを
準	とのよさや楽しさに気付いてい	り、伝えたいことや伝え方を選	もち,進んで触れ合い,交流し
	る。	んだりしている。	ようとしている。

る。		んだりしている。	ようとしている。
目標	時数	学習活動	評価規準
つたえたいな まちの すてき			
・地域で関わった人のことを	3	● 秋の探検で出会った人や見付	[思判表]伝える相手のことを
伝えたいという思いをもち,		けたことを振り返り、記録カー	想像しながら,伝えたいこと
相手のことを想像しながら		ドにかく。	を選んでいる。
伝えることを選ぶ中で,詳し		2 「まちのすてき」を友達と伝え	[態度]地域で関わった人のこ
く調べたいことがあること		合う。	とを伝えたいという思いをも
に気付き,もっと調べようと		❸出会った人や見付けたことを	ち、もっと詳しく調べようと
することができるようにす		より多くの人に伝える計画に	している。
る。		ついて話し合う。	
p.82~83			
もっと くわしく しらべよう	1		
・伝える相手のことを想像し	3	●伝えたいことや、そのためにも	[知技]身近な人々と関わるこ
ながら,手紙や電話を適切に		っと詳しく知りたいこと、調べ	とのよさに気付いている。
使って伝えたいことについ		る方法について話し合う。	[知技(習慣や技能)]地域の人
て調べる中で,地域には自分		②~③話し合って決めた調べ方	に連絡をする際、手紙や電話
の生活を豊かにしている		に沿って、さらに詳しく調べ	を適切に使っている。
人々がいることに気付くと		る。	[思判表]相手のことを想像し
ともに、身近な人々と関わる			ながら、伝えたいことを詳し
ことのよさに気付くことが			く調べている。
できるようにする。			
p.84~85			
つたえたい ことを まとめよう		And the second s	
・伝えたいことが相手に伝わ	3	●詳しく調べたことを整理して	[知技]伝える相手に応じた伝
るかどうかを予想しながら、		まとめる。	え方があることに気付いてい
伝え方を選んで地域の人に		②~③調べてまとめたことにつ	3.
伝えるための作品をつくる		いて、伝える準備をする。	[思判表]伝えたいことが相手
中で、相手に応じた伝え方が			に伝わるかどうかを予想しな
あることに気付くことがで			がら,伝え方を選んでいる。
きるようにする。			
p.86~87			
まちの すてきを とどけよう			
・適切な方法で訪問や依頼を	3	①~② グループでまとめたこと	[知技]交流することで、互いの
して,地域の人のところに出		を,地域の人に伝える。	気持ちがつながる心地よさに

かけ、つくった作品を使って、地域のよさを伝えて交流する中で、互いの気持ちがつながる心地よさに気付き、これからも進んで身近な人々と関わろうとすることができるようにする。

❸地域の人に伝えたり、感想や質問を受けたりしたときの様子を振り返る。

気付いている。

[知技(習慣や技能)]適切な方法で訪問や依頼をしている。 [態度]身近な人々と関わることのよさを実感し、これからも進んで身近な人々と関わろうとしている。

p.88

まちの 人を しょうたいしよう

- ・伝える相手に合わせた伝え 方を選んで、地域の人に地域 のよさを伝える中で、自分が 伝えたことで地域の人が喜 んでくれたことに気付き、こ れからも地域の人々と交流 しようとすることができる ようにする。
- ・保護者や地域の人など、身近な 人々を学校に招待するための 準備をする(手紙やポスターな ど案内の作成、発表会の練習)。
 - ・招待した人々に、心に残った地域での出来事を伝えたり感想 を聞いたりする。

[思判表]伝える人に合わせた 伝え方を選び、地域の人に伝 えている。

[態度]自分が伝えたことで地域の人が喜んでくれたことを実感し、これからも地域の人々と交流しようとしている。

p.89

冬の 行じに さんかしよう

・地域の行事に参加して,行事を支える人々と関わる中で, 自分たちの地域には季節を 生かした行事があることに 気付き,これからも地域の行 事に参加して,自分の生活を 楽しくしようとすることが できるようにする。

p.92~93

- 外・冬の行事に参加して、行事について調べたり、参加している人と関わったりする。
 - ・冬の行事に参加して感じたこと や気付いたことなどを話し合い、記録カードにかく。

[知技] 自分たちの地域には、季 節を生かした行事があること に気付いている。

[態度]身近な季節を生かした 行事のよさを実感し、それら に参加し、自分の生活を楽し くしようとしている。

単元名	あしたへ ジャンプ			教科書のページ	下 p.95~106
配当時数	27 時間	活動時期	1~3 月	学習指導要領の内容	(9)

自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。

	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	自分の生活や成長を振り返る活	自分の生活や成長を振り返る活	自分の生活や成長を振り返る活
0.00	動を通して、自分でできるよう	動を通して、過去と現在の自分	動を通して、自分の成長を支え
計価	になったことや役割が増えたこ	を比べたり、自分の成長を支え	てくれた人々に感謝の気持ちを
規	とに気付いている。	てくれた人々との関係を見付け	もち、これからの学習や生活へ
準		たりしている。	の願いをもって意欲的に生活し
			ようとしている。

大きく なった 自分の ことを ふりかえろう

- ・これまでの表現作品などを 手がかりに、過去と現在の自 分を比較しながら、自分の成 長について振り返る中で、自 分でできるようになったこ とや大きくなったことに気 付き、もっと自分のことにつ いて調べようとすることが できるようにする。
 - p.96~97
- ●写真や動画、記録カード、作品 などの手がかりを基に、入学し てからの出来事をみんなで振 り返る。
- ②これまでにつくった表現作品 やかきためてきた記録カード を見て,2年間の成長を振り返 る。
- 動前時にまとめたものを,グループや全体で紹介し合う。

[**知技**]自分でできるようになったことや大きくなったことに気付いている。

[思判表]過去と現在の自分を 比較しながら、自分ができる ようになったことや大きくな ったことについて話してい る。

大きく なった 自分の ことを しらべよう

・自分のことをもっと知りたいという思いをもち、振り返ったことや調べたことをつなぎ合わせて、自分の成長について調べる中で、優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付くことができるようにする。

p.98~99

- 1 ~ 2 友達との関わりを振り返り、互いのすてきなところを見付け、カードにかいて渡し合う。
- ③~⑤お世話になった人や家の 人などに、自分の成長について インタビューする。
- 食友達からもらったカードやインタビューなどを手がかりに、 過去の自分と比較し、自分の成長について話し合う。

[知技]優しさや思いやり,我慢する心など,内面の成長に気付いている。

[思判表] 自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ、自分の成長について話したりかいたりしている。

[態度]自分のことをもっと知りたいという思いをもち、身近な人に聞いて調べようとしている。

自分の ことを まとめよう

・自分の成長についてまとめ たいという思いをもち,いち ばんかきたいことを選び出 して作品に表す中で,自分自 身のよさや可能性に気付く ことができるようにする。

p.100~101

- ●前時までに調べたことを基に、 どんな出来事をどんな方法で まとめるのか、決める。
- ②~⑥資料や材料を集め、方法を 工夫しながら、自分の成長をま とめる。
- ❸~❸つくった作品を友達と紹

[知技]自分自身のよさや可能性に気付いている。

[思判表] 自分の成長について 気付いたことの中から、いち ばんかきたいことを選び出 し、作品に表している。

[態度]自分の成長についてま

		介し合い、まとめたことを振り	とめたいという思いをもち,			
		返る。	適切な方法で作品をつくろう			
			としている。			
ありがとうの 気もちを つたえ	ありがとうの 気もちを つたえよう					
・周囲の人々の存在と自分の	9	●~❷招待したい人を決め、発表	[知技]自分はたくさんの人に			
成長を関連付け,周囲の人々		会の計画を立てる。	支えられて生活し,成長して			
に感謝の気持ちを伝える中		3~6発表の準備をする。	いることに気付いている。			
で,自分はたくさんの人に支		⑥~❸発表会を開く。	[思判表]周囲の人々の存在と			
えられて成長していること		9 発表会を振り返り、話し合う。	自分の成長を関連付け、感謝			
に気付き,3年生でも意欲的			の気持ちを話している。			
に生活しようとすることが			[態度]これまでの生活や成長			
できるようにする。			を支えてくれた人々に感謝の			
p.102~103			気持ちをもち、3年生でも意			
			欲的に生活しようとしてい			

る。